

## 団体名 ケダマの会 (周南市)

代表者名	橋本 あき子	団体の目的
構成員数	10人	・家族のいない犬や猫を保護し、新しい家族探しを行うなど、不幸な犬、猫を一匹でも減らし、人や犬、猫にとって優しい社会づくりをめざす
設立	H22年11月	
問い合わせ先	kedamanokai1122@gmail.com	

## 事業名 動物愛護啓発の情報発信力アップ事業

**事業の目的**

- ・動物愛護活動の継続、啓発のための信頼性の向上を図る
- ・ホームページのバージョンアップや情報セキュリティ等の強化を図り、情報発信力を高める

**事業の内容**

①報発信力アップ事業  
地域の動物愛護活動や、保護している犬や猫の情報等を安全に発信できるよう専門家に依頼して独自ドメインの取得等、HPのセキュリティを強化

②動物愛護の啓発事業

- ・写真展や相談窓口の設置、保護犬・猫の里親探しの譲渡会を開催
- ・保護機材を購入し地域猫のTNR（捕獲・不妊去勢・解放）活動を実施
- ・動物愛護啓発のブックリストを作成し、光市や下松市内の小・中学校、図書館等に送付

**事業の成果**

- ・情報発信力のアップにより、毎月の公民館イベントとして譲渡会が地域に定着し、参加者も増加した
- ・新しく動物愛護活動を始める県内の団体やボランティアから、譲渡会開催や情報発信の指導依頼が複数あり、活動の輪が広がっている
- ・「保護犬の写真展」の反響をみて、自己資金で保護犬の写真を使ったオリジナルカレンダーを作成したところ収益が上がり、保護動物の医療費を捻出できた

## 活動現場レポート！ いぬとねこの譲渡会 (H29.9.10/周南市立周陽公民館)

この日は「保護犬と猫の譲渡会」が開催され、延べ100人近くが会場を訪れました。

新しい飼い主を探す保護犬4匹、猫25匹が会場におり、参加者はスタッフに飼育相談等がされていました。会場に来られなかった保護犬については写真を掲示し、里親を募集されていました。

開場後に早速、猫数匹のトライアル（お試し飼育）が決まり、また、ペットフードやペットシート等の支援物資を寄贈される方も多く、体や心が傷ついている犬や猫たちに支援の手を差し伸べる方の多さに驚きました。

里親希望者には、スタッフが自宅訪問して飼育環境の確認を行い、子猫の場合は1～2週間、大人猫や犬の場合には約1ヶ月のトライアル期間を経て、正式に譲渡する流れになっているとのことでした。

保護された犬や猫が新しい家族に出会えるよう、これからも啓発活動を続けていきたいです。



保護された犬や猫とふれあう参加者



里親を待つたくさんの犬たちを写真で紹介

